

文章には、骨組みになる部分があります。その骨組みになる部分を「主語」「述語」といいます。



主語

「何を」「何が」にあたる部分です。

述語

「どうする」「動きを表す言葉

「どんなだ」様子を表す言葉

「何だ」ものなどを表す言葉

例えば

妹は

主語



ぼくの

犬が

ほえる

主語



述語



かわいい。

述語



たてしだい

次の文から主語と述語をみつけないしょう。

ぼくは 思いつきり なげた。

主語

述語

きれいな さくらが さいている。

主語

述語

あれは 姉の 赤い 自転車だ。

主語

述語

主語は、文のはじめ  
述語は、文の終わり  
にくることが多いよ



文章には、骨組みになる部分があります。その骨組みになる部分を「主語」「述語」といいます。



主語

「何を」「何が」にあたる部分です。

述語

「どうする」「動きを表す言葉

「どんなだ」様子を表す言葉

「何だ」ものなどを表す言葉

例えば

妹は

主語

ぼくの

犬が

主語

ほえる

述語

かわいい。

述語

だてしきめん

次の文から主語と述語をみつけましょう。

ぼくは 思いつきり なげた。

主語

ぼくは

述語

なげた

きれいな さくらが さいている。

主語

さくらが

述語

さいている

あれは 姉の 赤い 自転車だ。

主語

あれは

述語

自転車だ

主語は、文のはじめ  
述語は、文の終わり  
にくることが多いよ

